



与論小だより

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、未来に挑む子供の育成



ブログはこちらから

がんばった遠泳大会、そして夏休みへ・・・

校長 岩元 輝美

7月6日(水)は、第41回となる遠泳大会を実施しました。歴史と伝統のある与論小学校の誇れる大きな行事です。開始直後に小雨が降り出し心配しましたが、子供たちは、これまでの放課後練習や体育の時間の学習を通して培った気力・体力・泳力を存分に発揮して海に挑みました。4年生にとっては、初めての遠泳大会でした。最初の練習の時、平泳ぎがまったくできなかった子供が、必死に頑張っている姿に大変感動しました。子供の伸びっつてすごいなあと思い知らされました。また、2回目の挑戦となる5・6年生の中には、泳ぎながら励ましの声かけをしてくれる子もいました。残念ながら体調が悪く泳げなかった子供も船上から声を出し応援しました。その姿にもとても感動しました。これこそが与論小の伝統の力だと改めて感じることでした。美しい与論の海での遠泳大会は一生の思い出になり、大きな自信につながったことでしょう。監視船・水上バイクを提供してくださった方々、PTA三役や事業部の方々、子供たちと一緒に泳いでくださった方々をはじめ関係者全ての皆様方に心から厚く御礼申し上げます。今後とも与論小学校の子供たちのために温かい御支援・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



さて、ある教育者が長年の教育経験を踏まえてまとめたことばとして、「子育て四訓」というものがあります。耳にされた方も多いかと思います。



乳児は、しっかり肌を離すな 幼児は、肌を離せ 手を離すな
少年は、手を離せ 目を離すな 青年は、目を離せ 心を離すな



幼児期から少年期に入る低学年、少年期真っ只中の中学年、少年期から青年期に向かい始める高学年と、親は成長の時期に合わせて子供への接し方や見方を変えていかなければならないことを説いています。

7月21日(木)から夏休みに入ります。子供たちの生活の基盤が学校から家庭・地域へ移ります。本年度も新しい生活様式の実践と、日々刻々と変化する新型コロナウイルス感染拡大状況を注視して生活をコーディネートする夏休みとなります。学びの歩みを止めるわけにはいきません。子どもたちが安全・安心に、そして、人に迷惑をかけず、自律した生活を営む素地を養うために、これまで以上によきモデルとしての親の姿をお子さんに見せ、「手・目・心」を離さないかわりを心掛けていただければと思います。

長いようで短かった1学期がまもなく終わります。子供たちの確かな学びを実現するための学校教育活動に対して、御理解・御支援いただいたことに心から感謝申し上げます。

